



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

別紙1



認知症の人(本人)へのアンケート調査結果

(認知症の人と家族へのアンケート調査)

広島県 健康福祉局 地域共生社会推進課
(令和7年9月)

調査概要（本人）

目的

- 「都道府県認知症施策推進計画」の策定に向け、認知症の人（本人）の思いを聴き、認知症の人が地域で暮らしていく上での課題等を把握すること。

実施方法

- 対象者：認知症の人（本人）
- 調査員：（公社）認知症の人と家族の会 広島県支部
- 調査方法：調査員による個別聞き取り
- 調査場所：本人の自宅、市町役場・集会所、介護施設、認知症カフェ等
- 調査期間：令和6年11月1日～令和7年3月31日

回答者数

- 認知症の人（本人）：68人

調査内容（本人）

設問	内容
問1	あなたの基本情報をお尋ねします。
問2	最初に「認知症では」と気づいたときの状況をお尋ねします。
問3	認知症の診断を受けたときの状況をお尋ねします。
問4	医療機関についての思いや、希望することは、どのようなことですか。
問5	お仕事についてお尋ねします。
問6	楽しみ、やりがいについてお尋ねします。
問7	認知症と診断されてから困っていることや、つらいことはありますか。 それはどのようなことですか。
問8	認知症と診断された人との、本人同士の交流についてお尋ねします。
問9	ご家族や地域の人にしてほしいこと、してほしくないことや、 言ってほしい言葉、言ってほしくない言葉は、どのようなことですか。
問10	これから認知症の診断を受けるかもしれない人やご家族に対し、 伝えたいこと(知っておいてほしいこと)はどのようなことですか。
補足	調査員からの補足事項等があれば記載

調査結果（本人）

問1：本人の基本情報（1/3）

①年代と性別

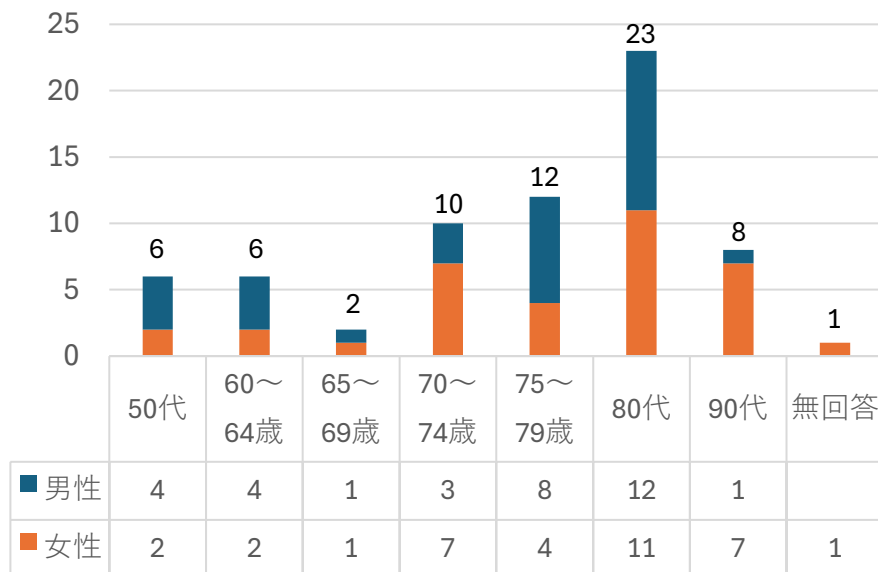
年代

後期高齢者（75歳以上）からの回答が多く、
68人中43人（63.2%）だった。

性別

男性33人（48.5%）、女性35人（51.5%）であった。

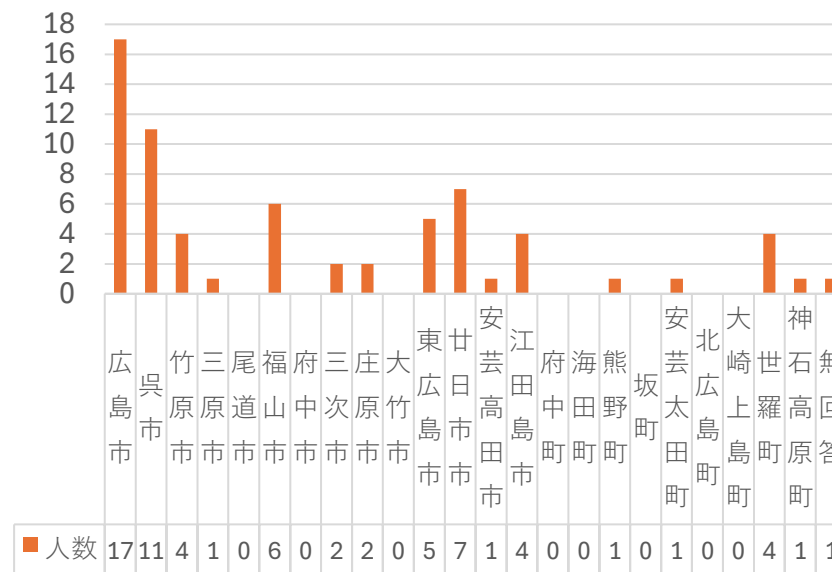
本人の年代・性別



②居住地

県内23市町中、15市町にお住まいのご本人から回答をいただいた。
広島市が68人中17人（25.0%）と最も多く、次いで呉市が11人（16.2%）であった。

居住地



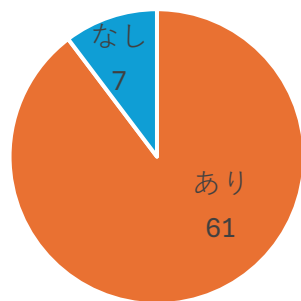
調査結果（本人）

問1：本人の基本情報（2/3）

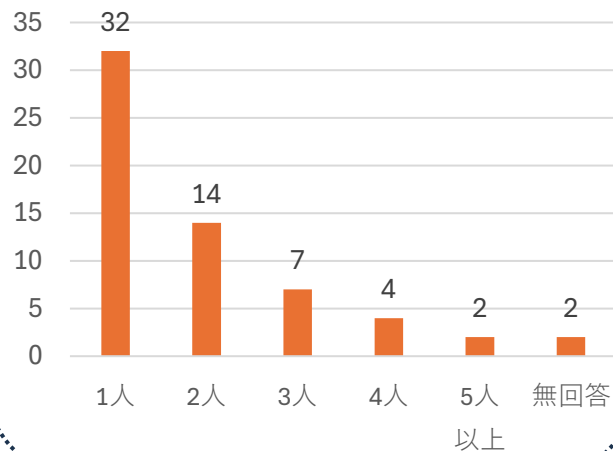
③同居家族

同居家族ありは68人中61人(89.7%)だった。
同居家族の人数は、1人(2人暮らし)が最も多く、
61人中32人(52.5%)であった。

同居家族の有無



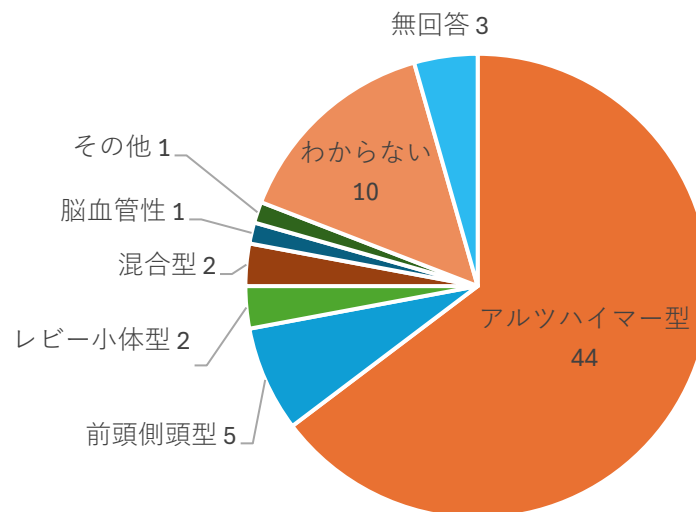
同居家族（61人）の人数内訳



④認知症の診断名

アルツハイマー型認知症が68人中44人
(64.7%)で最も多く、次いで前頭側頭型
認知症の5人(7.4%)であった。

認知症の診断名

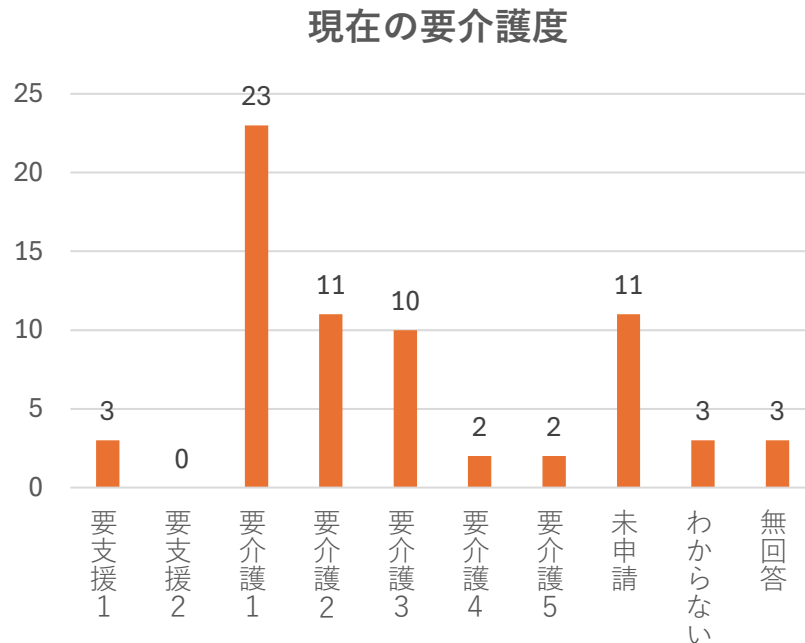


調査結果（本人）

問1：本人の基本情報（3/3）

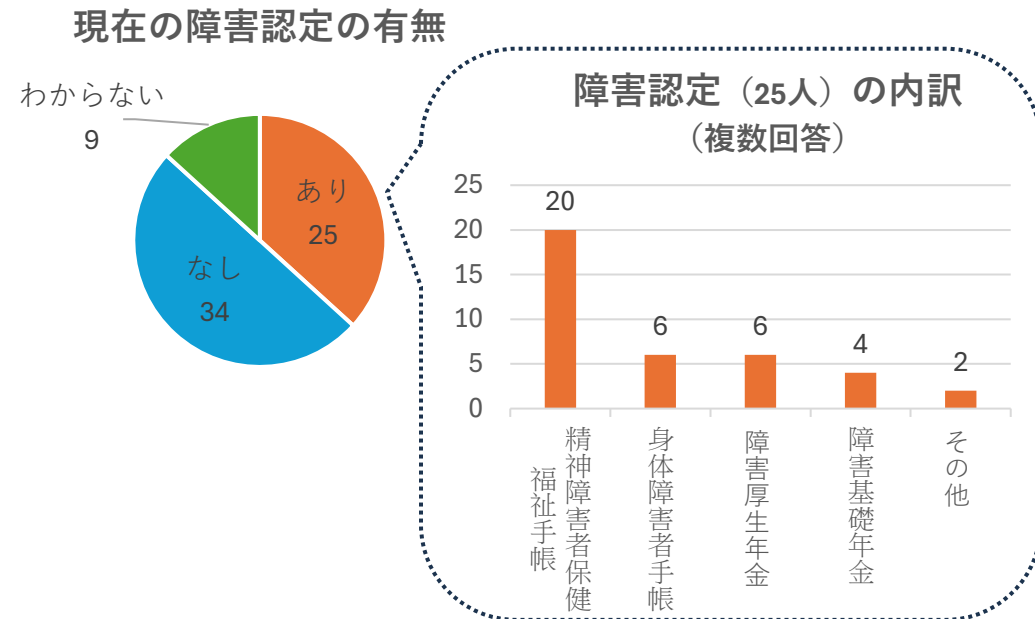
⑤現在の要介護度

要介護1が68人中23人（33.8%）で最も多く、次いで要介護2、未申請が11人（16.2%）であった。



⑥現在の障害認定の有無

障害認定ありは68人中25人（36.8%）であった。障害認定の内訳は、精神障害者保健福祉手帳を取得が25人中20人（80.0%）で最も多かった。



※精神障害者保健福祉手帳（20人）の等級：

1級（4人）、2級（7人）、3級（6人）、申請中（1人）、無回答（2人）

※身体障害者手帳（6人）の等級：1級（1人）、2級（1人）、3級（1人）、無回答（3人）

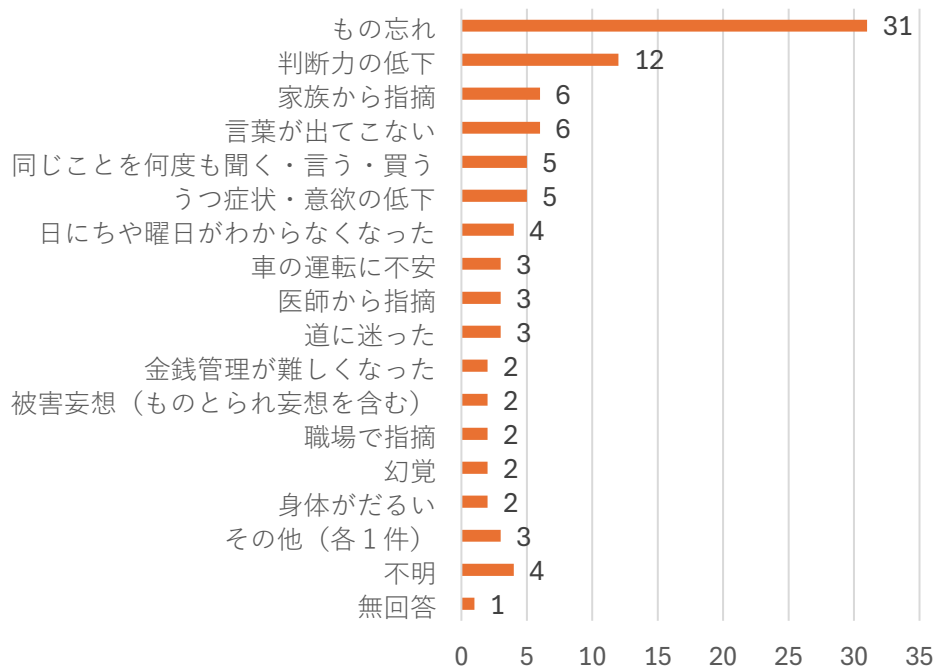
調査結果（本人）

問2：最初に「認知症では」と気づいたときの状況（1/2）

①どのような状況

「もの忘れ」や「判断力の低下」が多い。
「家族から指摘」や「言葉が出てこない」ことが気づきのきっかけになったという人もいた。

気づいたときの状況
(複数回答)



「もの忘れ」(31件)

本人の声(抜粋)

- 通帳のことや日々のこと等、**色々なことを忘れるようになった。**
- もの忘れがはげしい。絵を覚えておく検査があり、それができなかったショックが大きかった。

「判断力の低下」(12件)

本人の声(抜粋)

- **商品の数が数えられなくなった。**どこの店にどれだけ持って行くのか分からなくなった。
- 買い物ができなくなった。

「家族から指摘」(6件)

本人の声(抜粋)

- 家族に言われて診断を受けた。

「言葉が出てこない」(6件)

本人の声(抜粋)

- 言葉が出ない。(会話にならない。)

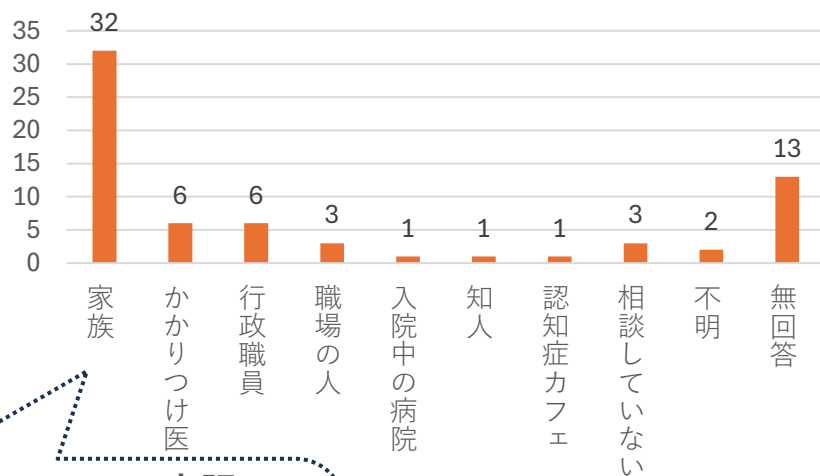
調査結果（本人）

問2：最初に「認知症では」と気づいたときの状況（2/2）

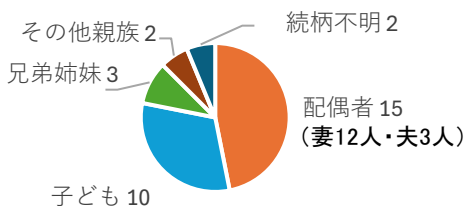
②はじめに相談した人

家族が最も多く、68人中32人（47.1%）だった。
家族の内訳としては、配偶者へ相談した人が多く、
32人中15人（46.9%）だった。

はじめに相談した人



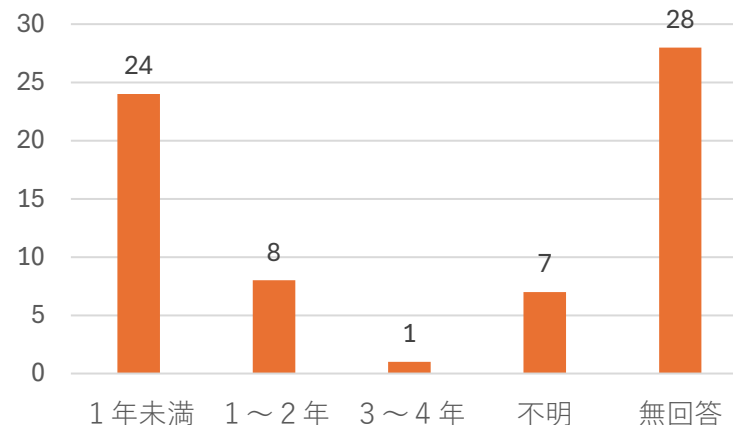
家族（32人）の内訳



③はじめに相談するまでの期間

無回答が多かったが、回答された人の中
では1年未満が多く、68人中24人
（35.3%）だった。

はじめに相談するまでの期間



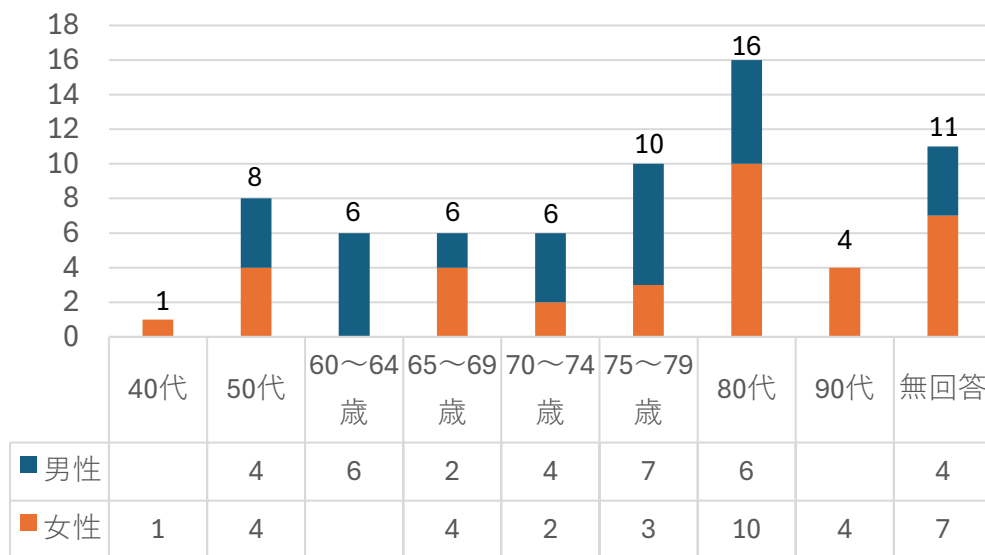
調査結果（本人）

問3：認知症の診断を受けたときの状況（1/2）

① 診断を受けたときの年代

高齢期（65歳以上）に診断を受けた人が多く、68人中42人（61.8%）だった。
一方で、65歳未満で診断を受けた人（若年性認知症）も15人（22.1%）いた。

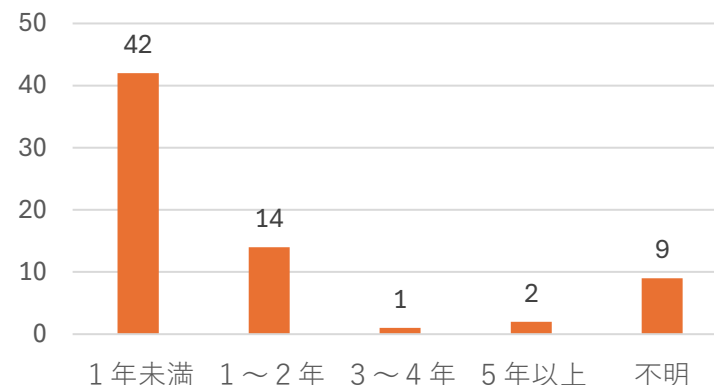
診断時の年代・性別



② 気づきから診断までの期間

1年未満が最も多く、68人中42人（61.8%）だった。
一方で、最長で7年という回答もあった。

気づきから診断までの期間



※気づきから診断までの期間

問3(ア) 認知症の診断を受けたときの年齢から、
問2(ア) 最初に「認知症では」と気づいたときの年齢を差し引いて算出した。
いずれかまたは両方の設問が無回答であり、算出不可の場合は、「不明」とした。

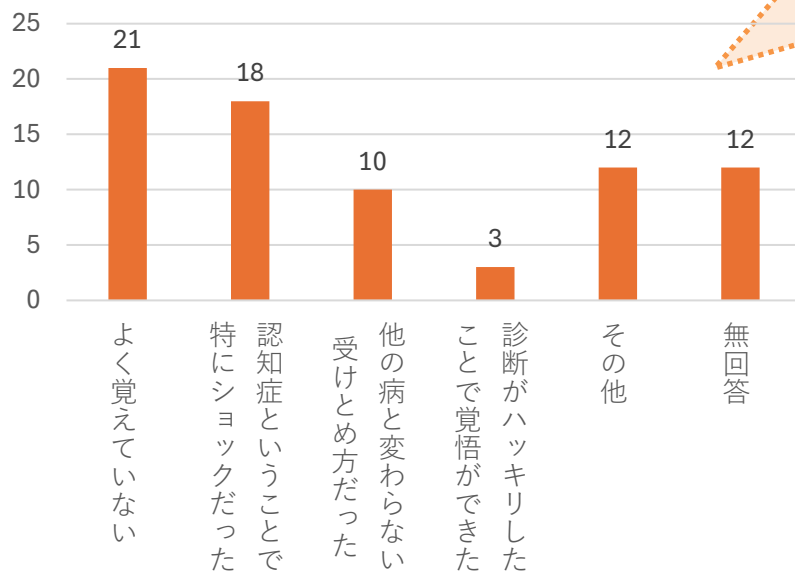
調査結果（本人）

問3：認知症の診断を受けたときの状況（2/2）

③ 診断を受けたときの気持ち

「よく覚えていない」が68人中21人(30.9%)と最も多かったが、次いで多かったのが「認知症ということで特にショックだった」の18人(26.5%)だった。その他の気持ちとして、「仕方ない」「受け入れられなかった」という回答も見られた。

診断を受けたときの気持ち
(複数回答)



本人の声：その他の気持ち（抜粋）

- ああ、そう。
- やっぱりかー。
- 年だから仕様がな。
- **しょうがないね。**
- しっくりこない、受け入れきれていない。
- **納得できず受け入れられなかった。**
- 受け入れられなかった。認知症なんかじゃ無いと思う。病気じゃあ無い。どこがおかしいか分からない。
- もしかしたらと思っていたが、まさかと思う気持ちもあり、今後のことが心配になった。
- 母も一緒(認知症)だった。あそこまでいってはいけんと思った。しっかりせんといけんと。

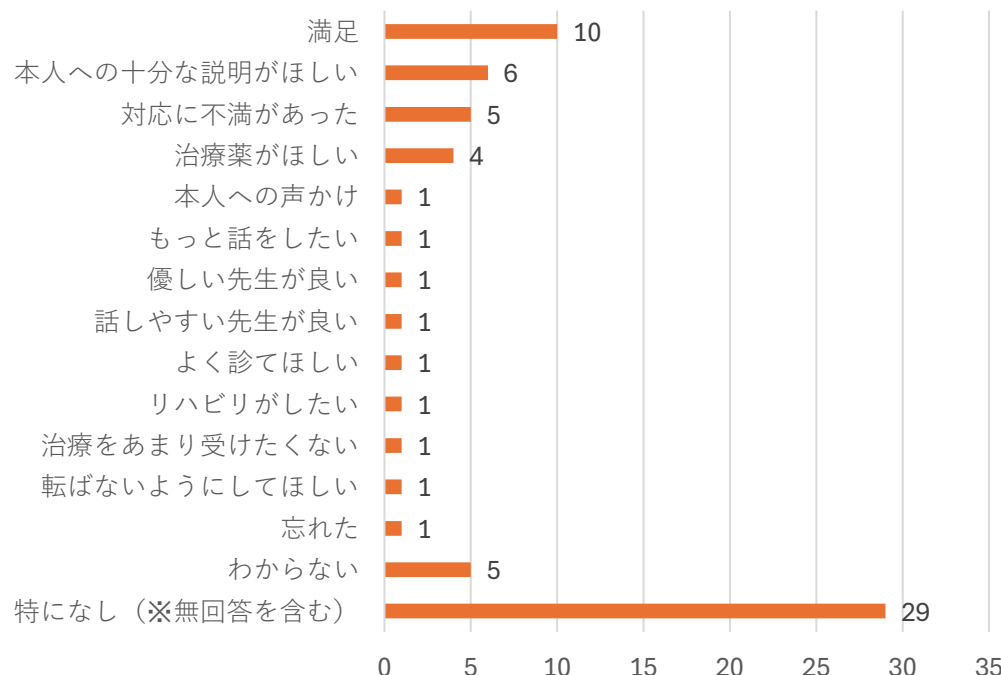
調査結果（本人）

問4：医療機関についての思いや、希望すること

○医療機関への思いや希望

「特になし」が最も多かったが、「満足」も多かった。
医師からの「本人への十分な説明」が、満足感に
繋がるという回答が多く見受けられた。

医療機関への思いや希望



「満足」(10件)

本人の声(抜粋)

- 現在の病院は女医で話がしやすく、**本人に向かかって話をしてくれる。**
- Dr.はよく話を聞いてくれる。自分に合っている。働き先を紹介してくれた。
- どちらの病院もやさしく親切にしてもらっている。

「本人への十分な説明がほしい」(6件)

本人の声(抜粋)

- 最初に診断を受けた時は、もっぱら医師と妻が話をして、自分にはよく分からなかった。通院をしているので、はっきりと認知症の原因や現れる結果について**自分にも教えてもらいたい。**

「対応に不満があった」(5件)

本人の声(抜粋)

- もっと会話をしてほしい。**「何を言っても分からない、理解出来ないだろう」というような言い方だった。それが悔しかった。**

調査結果（本人）

問5：仕事の状況（1/2）

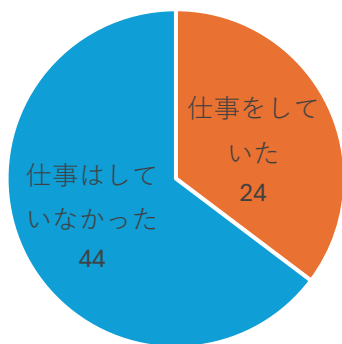
① 診断を受けたときの就労状況と経過

診断時に「仕事をしていた」は、68人中24人（35.3%）だった。

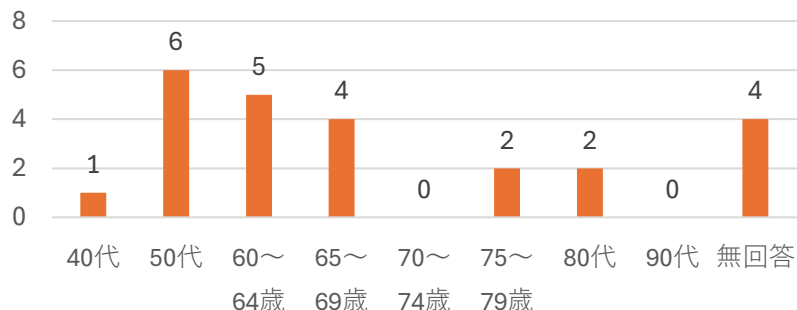
65歳未満は24人中12人（50.0%）で、職業は「会社員・公務員」が多く、24人中16人（66.7%）だった。

診断後は、24人中13人（54.2%）が「辞めて今は何も仕事はしていない」という回答だった。【理由は次ページへ掲載】

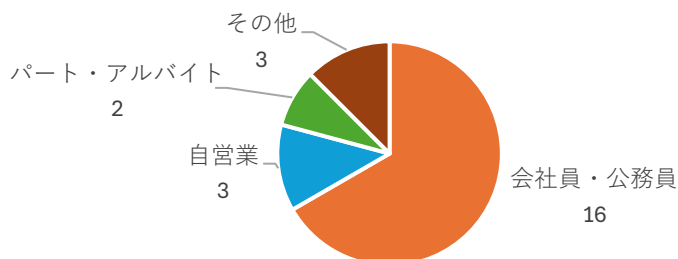
診断時の就労状況



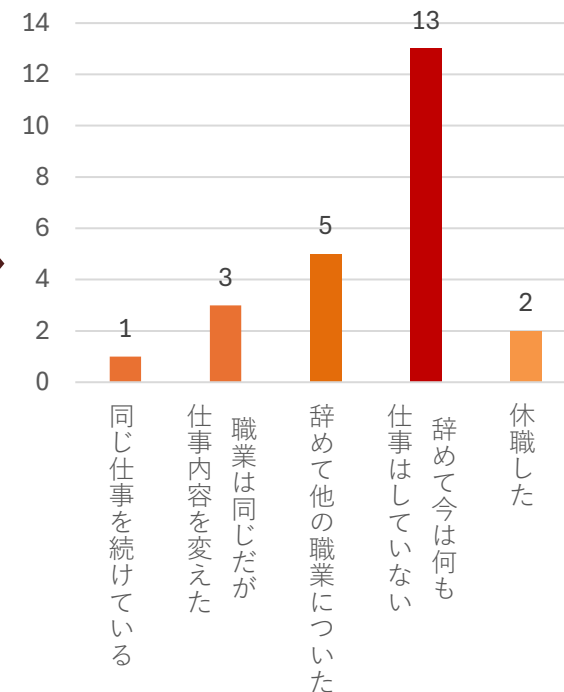
仕事をしていました人（24人）の年代



仕事をしていました人（24人）の職業



仕事をしていました人（24人）の診断後の経過



調査結果（本人）

問5：仕事の状況（2/2）

②診断後に仕事を辞めたり、変更した理由

「診断後に辞めて他の職業についた」(5人)

本人の声(抜粋)

- お金関係の計算をする仕事が難しくなったため。
- 仕事上のミスが発生し、**職場から休むように言われた**ため。

「診断後に辞めて今は何も仕事はしていない」(13人)

本人の声(抜粋)

- **勤務日を忘れていて、ショックで、もう辞めようと思った。**
- 受診日と仕事の日が重なることが多くなったので、仕事をやめた。
- 薬を飲み始めて、車の運転もする仕事だったのでやめた。
- 字が書けなくなるなど、思うように行動ができなくなったため。
- **職場の人に迷惑をかけたくなかったから。**
- 自分の思うように体がついていかなかった。でも仕事のことは少し気になったが、やっぱり体がついていかない。60年頑張った仕事のため、辞めるのは寂しいし、悔しい。
- 診断を受けてはっきりして、自分から辞める気持ちはあったのでやめた。ただし、人員の補充もないし、もう少し居た方が職場に迷惑をかけないから良いと思っていたが、**職場の上司が気にせず治療に専念するように言ってくれたので退職した。**

調査結果（本人）

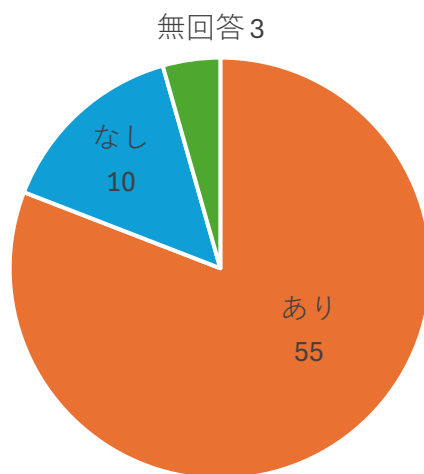
問6：楽しみ、やりがい（1/3）

① 日頃から楽しんでいる趣味や活動

「あり」が68人中55人であり、80.9%の人が日頃から楽しんでいる趣味や活動があることがわかった。

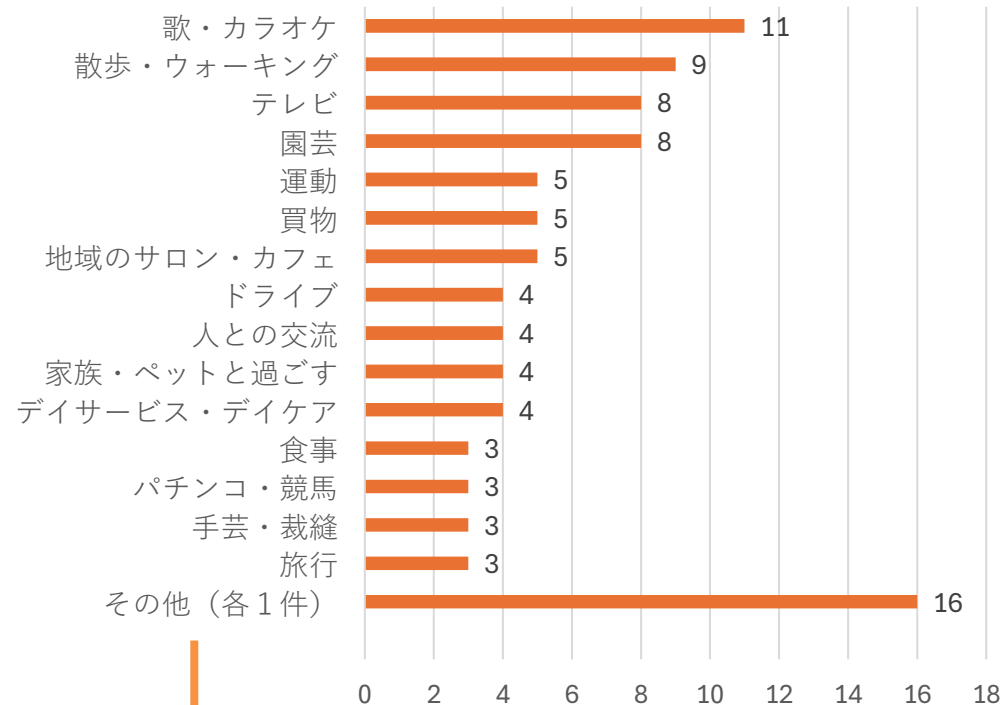
内訳は多種多様であったが、「歌・カラオケ」、「散歩・ウォーキング」が多かった。

趣味や活動の有無



趣味や活動の内訳（55人）

（複数回答）



※その他（各1件）の内訳

料理、昼寝、風呂、新聞、麻雀、絵を描く、ゴルフ、山登り、自転車、ギター、講演活動、就労継続支援B型事業所へ通う、花を見る、脳トレ、囲碁、陶芸

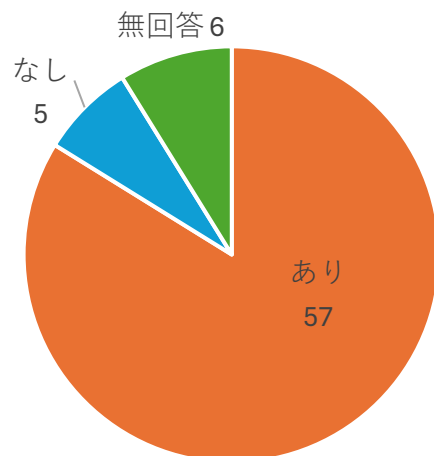
調査結果（本人）

問6：楽しみ、やりがい（2/3）

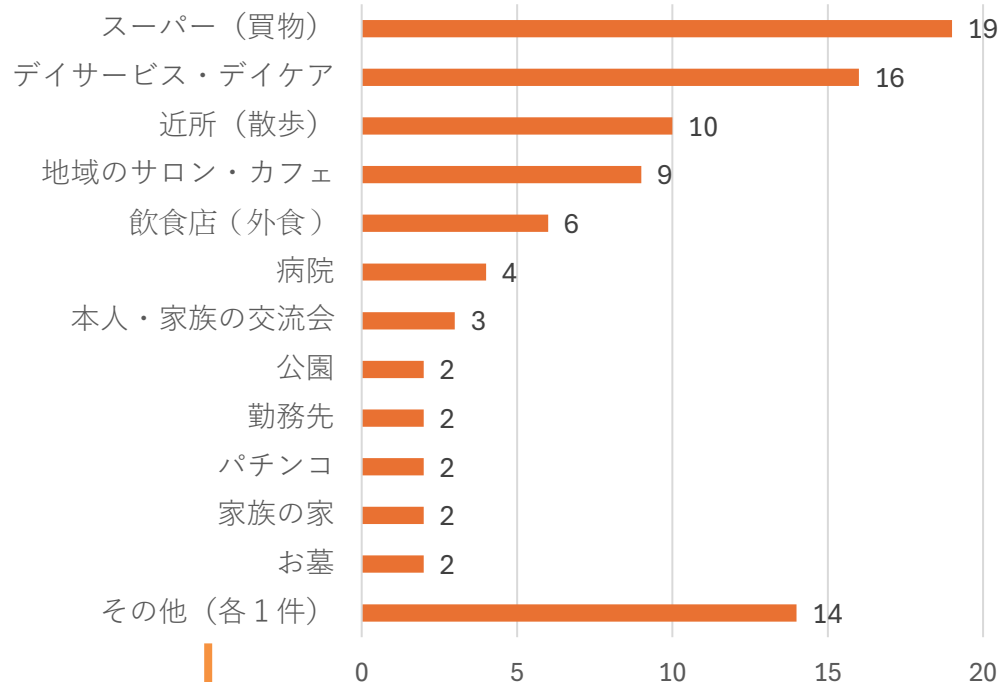
② 普段から出かける場所

「あり」が68人中57人であり、83.8%の人が普段から出かける場所があることがわかった。
内訳は、「スーパー」、「デイサービス・デイケア」が多かった。

出かける場所の有無



出かける場所の内訳（57人）
（複数回答）



※その他（各1件）の内訳

美容院、陶芸教室、スーパー銭湯、ペットショップ、寺社、市役所、山、畑、ボート場、サービスエリア、プール・ジム、別荘、本屋、コーラス

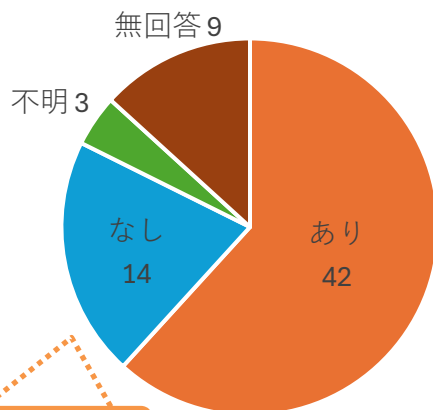
調査結果（本人）

問6：楽しみ、やりがい（3/3）

③やりたいことや行きたいところ

「あり」が68人中42人（61.8%）だった。
内訳は、「旅行」、「外出」、「故郷」、「温泉」等、外出に関わる回答が多く見受けられた。

やりたいことや行きたいところの有無

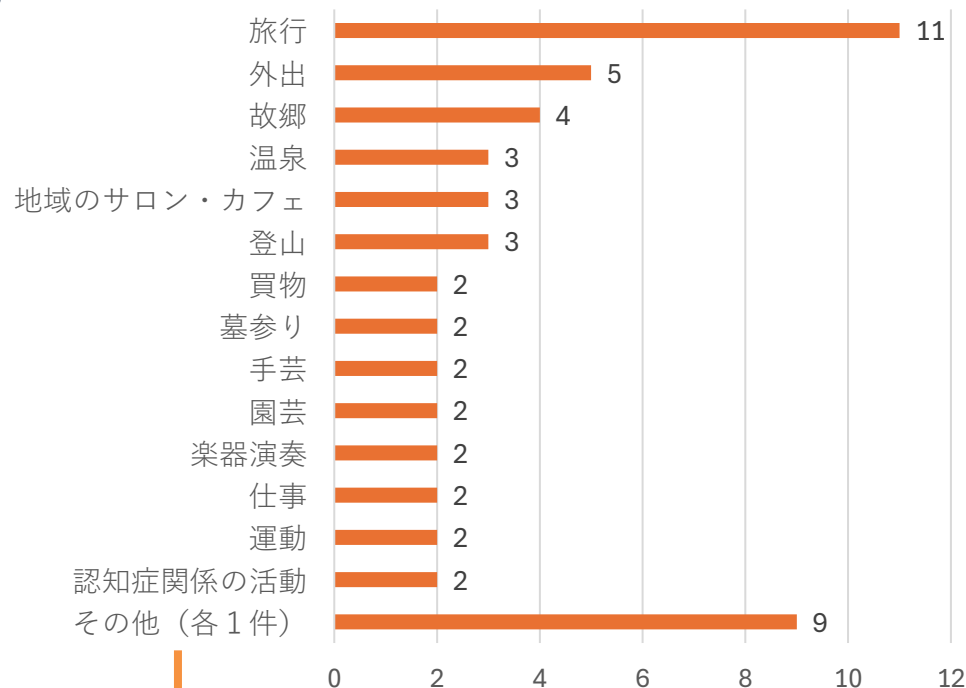


本人の声（抜粋）

「なし」

- 今まで忙しかったので、家でのおんびり過ごすのが一番幸せ。
- 今はやる気が出ない。

やりたいことや行きたいところの内訳（42人）
（複数回答）



※その他（各1件）の内訳

本人・家族の交流会、お見舞い、近所づきあい、外食、料理、歌、リハビリ、テレビ、パチンコ

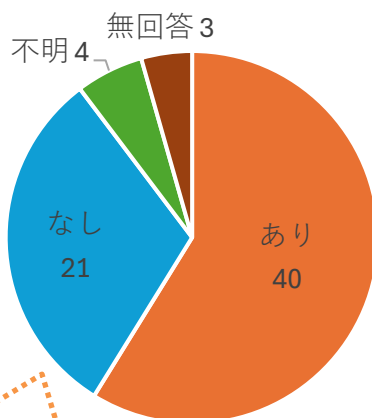
調査結果（本人）

問7：困っていること、つらいこと（1/2）

○困っていること、つらいこと

「あり」が68人中40人（58.8%）だった。
内訳は、「外出が難しいこと」、「仕事のこと」、「もの忘れ」、「家族から怒られること」が多く見受けられた。

困っていることやつらいことの有無

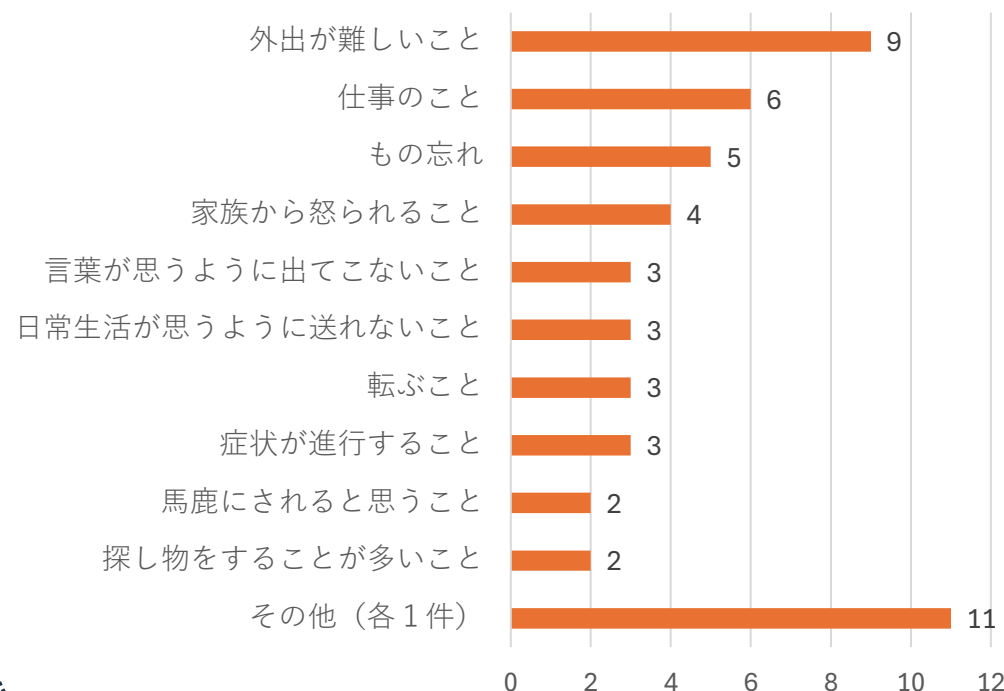


本人の声（抜粋）

「なし」

- 妻と一緒にいれば大丈夫。
- 今の自分を受け入れるしかない。
別につらいとは思っていない。

困っていることやつらいことの内訳（40人） （複数回答）



調査結果（本人）

問7：困っていること、つらいこと（2/2）

「外出が難しいこと」(9件)

本人の声(抜粋)

- 運転免許返納と視力低下で、**自力外出が困難**で困っている。
- 一人で出歩くことがなくなった。**道に迷うことが怖い。**

「仕事のこと」(6件)

本人の声(抜粋)

- 自分が周りの人と比べて作業に時間がかかったり、**分からないことが多くなっているのがつらい**ときがある。

「もの忘れ」(5件)

本人の声(抜粋)

- 同じ事を何回も聞づらい。忘れてすぐ聞く。
- 忘れることがある。忘れないよう予定をカレンダーに書いている。

「家族から怒られること」(4件)

本人の声(抜粋)

- 何をどうしてよいかわからなくなる。**お父さんによく怒られる。**
- 妻の声が大きく、他人に使うような言葉を私に言う。(親近感が薄れてきたような気がする。)

「言葉が思うように出てこないこと」(3件)

本人の声(抜粋)

- こういうストレートな質問(困っていること、つらいこと)によろ答えられない。そういうことが困る。言いたいことが、なかなか返せない。(中略)ぱっと答えられない。1つのストーリーになって答えたいのに、言葉がうかんでこない。**単純なやりとりならできる。変化球になると、もういけん。つなぐことができん。**てきぱきと受けこたえしている人を見ると、うらやましいと思う。

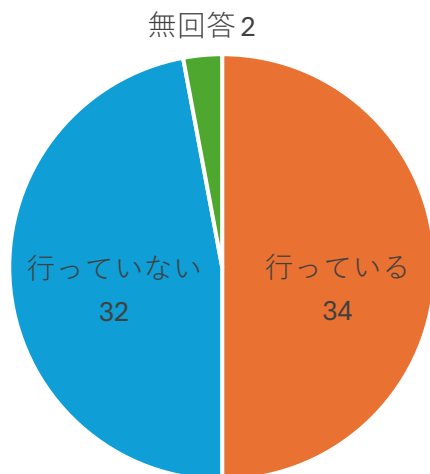
調査結果（本人）

問8：本人同士の交流（1/2）

①本人同士の交流を行っているか

「行っている」が68人中34人であり、50.0%の人が本人同士の交流を行っていることがわかった。
交流の方法としては、定期開催されている集いや交流会、地域の認知症カフェやデイサービスに行くという回答が見られた。

本人同士の交流の状況



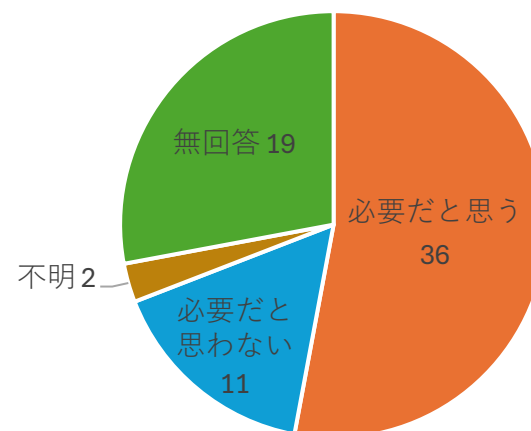
※どのように行っているか

- 認知症の人と家族の会の集い
- 病院の交流会
- 行政の交流会
- 認知症カフェ
- デイサービス 等

②本人同士の交流の機会が必要か

「必要だと思う」が68人中36人であり、52.9%の人が本人同士の交流の機会の必要性を感じていることがわかった。
【理由は次ページへ掲載】

本人同士の交流の機会



調査結果（本人）

問8：本人同士の交流（2/2）

③本人同士の交流の機会が**必要だと思う理由**（36人）

本人の声（抜粋）

- 親近感がわき、何でも話し合える。
- 同じ悩みを共有できる。
- 交流が楽しい。
- 息抜きの場になる。
- 気が晴れるから。
- 話が合うから楽しい。何かあった時にも声を掛けられるから。
- 会話が必要。お互い情報交換し、良い所はとりいれて、症状の進行も防げたらよい。
- 私以外の人の様子がわかる。症状やどんなふう頑張っているか等。そして真似することができるから。町内であると良い。

④本人同士の交流の機会が**必要だと思わない理由**（11人）

本人の声（抜粋）

- 一人で読書したりするのが好き。他の人と話すのがめんどくさい。
- デイサービスで（他の人と）話しているので、あえて（本人同士は）必要ない。
- あればよいとは思いますが、会話のキャッチボールができないからです。

調査結果（本人）

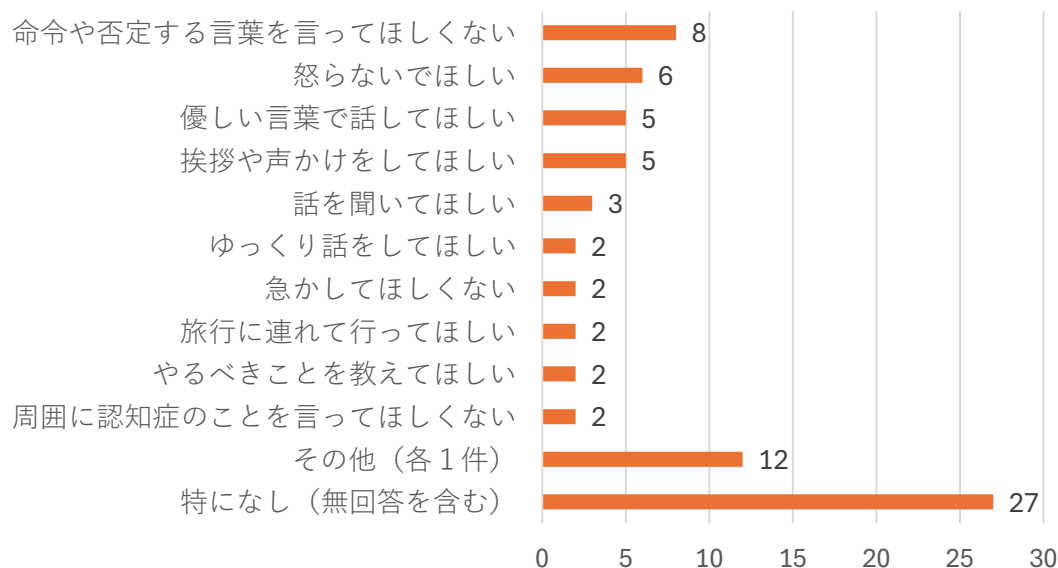
問9：家族や地域の人への思いや希望

○家族や地域の人への思いや希望

【設問の内容】ご家族や地域の人にしてほしいこと、してほしくないことや、
言ってほしい言葉、言ってほしくない言葉は、どのようなことですか。

「特になし」が最も多かったが、話しかける時の言葉遣いや口調に対する思いを述べられた方が多かった。

家族や地域の人への思いや希望
(複数回答)



「命令や否定する言葉を言ってほしくない」(8件)

本人の声(抜粋)

- 言われる内容がわからず返答に困ると、「黙っていてはわからない」と言われたり、「うん、うんと言うだけじゃあダメ」と言われると困る。

「怒らないでほしい」(6件)

本人の声(抜粋)

- 色々わからないから聞くと、「今、言うたじゃないか」と怒ったように言われる。

「優しい言葉で話してほしい」(5件)

本人の声(抜粋)

- 優しい言葉をかけてほしい。みんな優しくしてくれる。

「挨拶や声かけをしてほしい」(5件)

本人の声(抜粋)

- 「ありがとう」「美味しかったよ」「ごちそうさま」と言ってほしい。何でも良いから言ってほしい。

調査結果（本人）

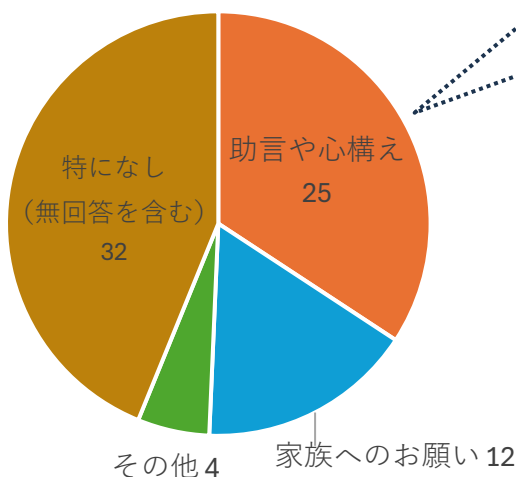
問10：認知症になるかもしれない人や家族へ伝えたいこと（1/5）

※問10：家族からの説明等、本人自身の発言でないものは除外して集計した。

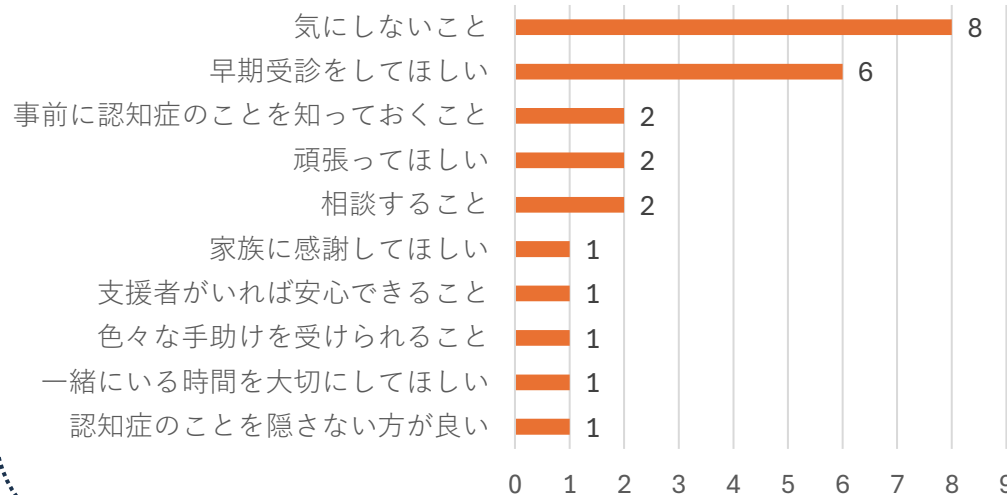
〇伝えたいこと（知っておいてほしいこと）

「特になし」が最も多かったが、これから認知症になるかもしれない人に対する助言や心構えとして、「気にしないこと」、「早期受診をしてほしい」が多かった。
また、日常生活での家族へのお願いを述べられた方もいた。【各項目の内訳は次ページから記載】

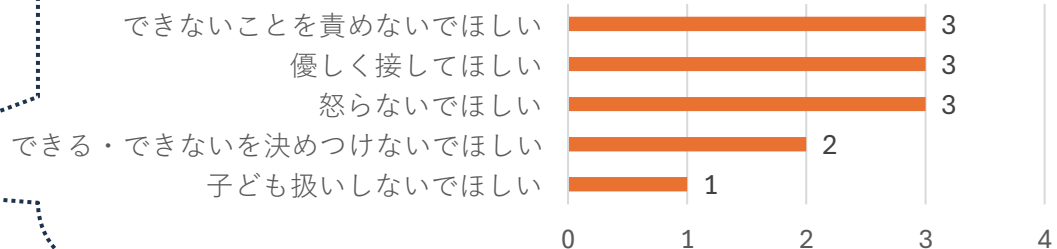
本人からのメッセージ （複数回答）



助言や心構え（25件） （複数回答）



家族へのお願い（12件） （複数回答）



調査結果（本人）

問10：認知症になるかもしれない人や家族へ伝えたいこと（2/5）

〇助言や心構え

「気にしないこと」(8件)

本人の声(回答全数記載)

- 認知症と診断されても気にすることなく、集会所での活動などに参加してもらいたい。共に楽しみたい。
- 1人で考えすぎないように。なかなか人には言いづらい。
- **認知症になっても、それなりの生活ができるので、気にしない。**自分が困らないよう工夫して、日常生活が過ごせば良い。
- 認知症と診断されても、**気にせず人と付き合うこと。**
- なるべくにしかならない。くよくよしない。
- 気にしてもしょうがない。**あんまり考えこまずに、自分で飲みこんで、のほほんとしておくのが一番。自分のできるところで、できることをすれば良い。**
- あまり深く考えないように。
- 大丈夫。まだ大丈夫。

「早期受診をしてほしい」(6件)

本人の声(回答全数記載)

- **おかしいと思ったら、すぐに診断を受けること。**
- 早く病院に行ってほしい。
- 歳をとったら早目に病院に行ってほしい。
- **早目に、いつもと違ったこと、行動に気付いてほしい。**
- 自分でわかるのであれば、早く病院に行った方がよい。
- 確かな医師に早く診断してもらって下さい。

調査結果（本人）

問10：認知症になるかもしれない人や家族へ伝えたいこと（3/5）

○助言や心構え

「事前に認知症のことを知っておくこと」(2件)

本人の声(回答全数記載)

- 事前に認知症の事を知っておく事が必要だと思う。
- 特定の人にだけでなく、全ての人に「認知症」について繰り返し繰り返し、さりげなく広報する必要がある。(誰もがなり得る事をもとにして)

「頑張してほしい」(2件)

本人の声(回答全数記載)

- 私も一緒にじゃけえ、がんばろうね。
- 頑張ってください。無理せずに皆さん体に気をつけて。

「家族に感謝してほしい」(1件)

本人の声(回答全数記載)

- 家族の人に感謝してほしい。お父さんが居なければ生きていけない。自分も大事にしてもらって嬉しい。

「支援者がいれば安心できること」(1件)

本人の声(回答全数記載)

- 自分を支えてくれる人がいたら安心...自分がそうだった。時々しんどくなることがあるが、一緒にいてくれるので助かっている。

「一緒にいる時間を大切にしてほしい」(1件)

本人の声(回答全数記載)

- 会話をし、一緒にいる時間を大切にしてほしい。

「相談すること」(2件)

本人の声(回答全数記載)

- すぐ相談すること。
- かかりつけの先生に相談してほしい。

「色々な手助けを受けられること」(1件)

本人の声(回答全数記載)

- 認知症になっても、いろいろな手助けを受けられることをお伝えしたい。

「認知症のことを隠さない方が良い」(1件)

本人の声(回答全数記載)

- 隠さないこと。隠そうと思わないこと。ありのままを出すというスタンスに立たないと苦む。自分の体験してきたことをストレートに話す。こういうことがあるよ、と伝えてあげるのが一番。人間だから、きれいに見せようとするが、これが認知症にとって一番、悪い。これを繰り返すことで、頭の中がぐちゃぐちゃになる。意固地になる。こういうことはやめましょう。

調査結果（本人）

問10：認知症になるかもしれない人や家族へ伝えたいこと（4/5）

○家族へのお願い

「できないことを責めないでほしい」（3件）

本人の声（回答全数記載）

- 自分自身やりたくてもどうしていいか分からなくなってしまうますが、人から見ると、なんでこんなことができないのか理解できないと思います。ただ、他の人がどうなのかは全く分かりません。ご家族の支えが絶対に必要ですので、簡単なことができなくても、そのことを責めることなく、優しく介護されることを望みます。
- **できることができなくなっても、責めてはいけない。**驚かせずに見守ってほしい。
- できないことは無理にさせないで。

「優しく接してほしい」（3件）

本人の声（回答全数記載）

- 忘れること等を理解して優しく接してほしい。きつい言葉は傷つく。
- 優しくしてほしい。（2件）

「怒らないでほしい」（3件）

本人の声（回答全数記載）

- 怒らないでほしい。
- 怒らないようにしてほしい。（2件）

「できる・できないを決めつけないでほしい」（2件）

本人の声（回答全数記載）

- 認知症の人にならないとわからないことが多いので「センニューカン」で決めつけてはいけないと思う。（できない、わかるわからない）
- **「できる」「できない」を決めつけて話をしてほしくない。**

「子ども扱いしないでほしい」（1件）

本人の声（回答全数記載）

- 子ども扱いをするような言葉かけはしてほしくない。

調査結果（本人）

問10：認知症になるかもしれない人や家族へ伝えたいこと（5/5）

○その他

「認知症の人と話をしたい」（1件）

本人の声（回答全数記載）

- よくわかりませんが、認知症をかかえるような状態の方と話がしたい。何か話ができれば、いいようになる...そうしていきたい。

「楽しく暮らしていること」（1件）

本人の声（回答全数記載）

- あまり考えたことがないが、ここ（施設）はええ。しんどい時はベル（ナースコール）を押したら、すぐ来てくれる。家に一人でおったら大変。たまに息子や娘が訪ねてくれるのが楽しみ。

「伝えたいことが理解してもらえないことがあること」（1件）

本人の声（回答全数記載）

- 言われたことに対して理解して話すことが難しいため、伝えたいことが家人にもわからない。

「美味しいご飯を食べたい」（1件）

本人の声（回答全数記載）

- お母さんに毎日おいしいごはんを作ってほしい。

調査結果（本人）

補足：調査員からの補足事項等

調査員からの補足事項等（抜粋）

- 過去の履歴はスマホを見て答えられていました。スマホがちゃんと活用できると生活する際のアドバンテージになると思いました。
- 本人同士の交流会に参加されていますが、ご本人で話ができる方が他におられず、寂しくされています。病状が同レベルの人が集まれる場があれば良いと思います。
- 自分一人ではできないことが多くなり、悲しいと思っておられるようです。普段は、自分の病気のことをあまり意識していないようで、カフェやデイなどで（本人と交流しても）、本人同士という考えはないのでは。その場を楽しく過ごしておられるようです。
- ご本人のやさしい、前向きな考え方をされている様子が、よく伝わりました。終始、笑顔でこたえてくださいました。「交流したい」「自分の体験を話したい」という希望がありましたので、（中略）ご経験を生かせる場を提供できればと強く思いました。
- 当事者同士のつながりが大切だと思いました。本人の思いはあるけど、聞きとりするのは少々難しい状況でした。
- 「何か変だな」と感じ始めた時、どこの病院に行けばよいかわからず、受診までに時間がかかったとのことです。
- ご自身でもできないことが多くあり、残念な気持ちはあるが、時間がかかっても1人でやりたいと思っているようです。
- 1人暮らしであり、不安の中で生活されているようです。（地域で見守り、声かけを行っている。）
- 自分は認知症という自覚はなく、「困っていることも心配なこともない」と答えられました。

調査結果のまとめ（本人）

○本調査からわかったこと

認知症と診断されたときの気持ち

- 「他の病と変わらない受けとめ方だった」よりも「**認知症ということ**で特にショックだった」が多い。

診断を受けたときの就労状況と経過

- 診断時に仕事をしていた人のうち、**診断後に仕事を辞めた人が過半数を占めた。**

普段の生活・本人同士の交流

- 回答された認知症の人の**80.9%**が**日頃から楽しんでいる趣味や活動があり**、やりたいことは外出（旅行等）が多い。
- 出かける場所は、**スーパーやデイサービス・デイケア**が多い。
- 本人同士の交流を行っている人や、交流の機会が必要だと思っている人は、いずれも50%程度だった。

困っていること・つらいこと

- 「**外出が難しい**」、「**仕事のこと**」、「**もの忘れ**」、「**家族から怒られること**」が多い。

家族や地域の人への思いや希望

- 話しかける時の言葉遣いや口調に対する思いを述べられた方が多い。

本人からの助言や心構え

- 「**気にしないこと**」、「**早期受診をしてほしい**」という声が多い。



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

参考：調査票

認知症の人と家族への調査票【本人用】

調査方法：聞き取り調査

調査日：令和 年 月 日

調査場所：_____

調査員氏名：_____

調査員連絡先：_____

問1 あなたの基本情報をお尋ねします。

- (ア) 年齢：() 歳 (イ) 性別： 男性 ・ 女性 ・ その他
- (ウ) 居住地：() 市・町 (エ) 同居家族： 無 ・ 有 () 人
- (オ) 認知症の診断名：
 アルツハイマー型 ・ 脳血管性 ・ レビー小体型 ・
 前頭側頭型 ・ その他 () ・ わからない
- (カ) 現在の要介護度：
 要支援 1 ・ 2 要介護 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5
 未申請 ・ その他 () ・ わからない
- (キ) 現在の障害認定の有無：
 1. 有 ⇒具体的に(あてはまるものすべてに○)
 a. 身体障害者手帳(等級： 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7)
 b. 精神障害者保健福祉手帳(等級： 1 ・ 2 ・ 3)
 c. 障害基礎年金を受給
 d. 障害厚生年金を受給
 e. その他 ()
2. 無
 3. わからない

問2 最初に「認知症では」と気づいたときの状況をお尋ねします。

- (ア) いつ：() 歳のとき
- (イ) どのような状況：()

- (ウ) はじめに相談した人：()

- (エ) はじめに相談するまでの期間：気づいてから () 日 ・ 月 ・ 年 後

問3 認知症の診断を受けたときの状況をお尋ねします。

- (ア) いつ：() 歳のとき
- (イ) 診断を受けたときのお気持ち：
 1. 他の病と変わらない受けとめ方だった
 2. 認知症ということで特にショックだった
 3. 診断がハッキリしたことで覚悟ができた
 4. よく覚えていない
 5. その他 ()

問4 医療機関についての思いや、希望することは、どのようなことですか。

問5 お仕事についてお尋ねします。

- (ア) 診断を受けた時のお仕事：
 1. 会社員(業種や職種等：)
 2. 自営業(業種や職種等：)
 3. パート・アルバイト(業種や職種等：)
 4. 仕事はしていなかった
 5. その他 ()
- (イ) 現在のお仕事：
 1. 診断を受けた時と同じ仕事を続けている
 2. 診断後に辞めて今は何も仕事はしていない
 3. 診断後に辞めて他の職業について
 (業種や職種等：)
 4. 診断後に職業は同じだが仕事内容を変えた
 (業種や職種等：)
 5. その他 ()

(ウ) 診断後に仕事を辞めたり、変更した場合は、その理由をお教えてください。

問6 楽しみ、やりがいについてお尋ねします。

(ア) 日頃から楽しんでいる趣味や活動はありますか。それはどのようなことですか。

[

]

(イ) 普段から出かける場所がありますか。それはどのようなところですか。

[

]

(ウ) やりたいことや行きたいところはありますか。その内容や場所をお教えてください。

[

]

問7 認知症と診断されてから困っていることや、つらいことはありますか。
それはどのようなことですか。

問8 認知症と診断された人との、本人同士の交流についてお尋ねします。

(ア) 本人同士の交流を行っていますか。

[

1. 行っている (どのように :
2. 行っていない

]

(イ) 本人同士の交流の機会が必要だと思いますか。

[

1. 必要だと思う (理由 :
2. 必要だと思わない (理由 :

]

問9 ご家族や地域の人にしてほしいこと、してほしくないことや、
言ってほしい言葉、言ってほしくない言葉は、どのようなことですか。

問10 これから認知症の診断を受けるかもしれない人やご家族に対し、
伝えたいこと(知っておいてほしいこと)はどのようなことですか。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ 調査員の方へ⇒ 調査時の補足事項等がありましたら、下記に記載をお願いします。